9 鉢伏高原･ハチ北高原　　ランク：A

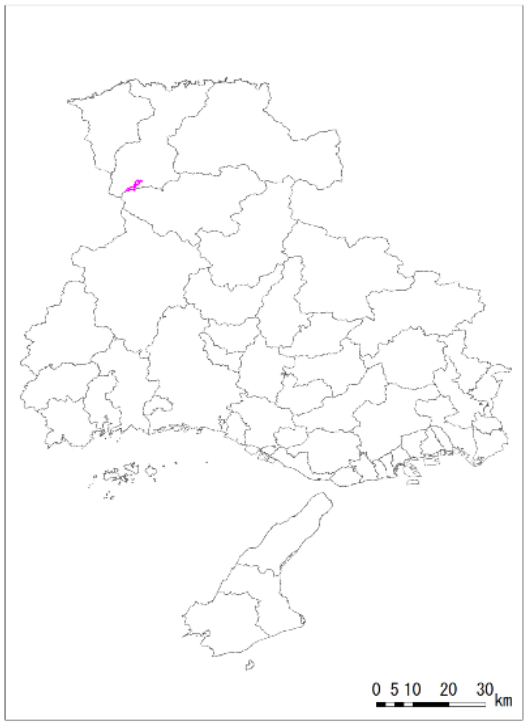
生態系区分
草原

区分レベル
中

含まれる生態系（生態系区分）
大沼（湿地）

市町名
養父市・美方郡香美町

場所
-



選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性
○	○	○			○	○

保全制度
国定公園
県天然記念物（ヤマドリゼンマイ群落、ミツガシワ自生地）

概要
県域でも限られたウスイロヒョウモンモドキの生息地。県域最大規模のススキ草原と各種の湿地植物群落がまとまって分布する。スキー場として管理されることで、草地環境が維持されており、ウスイロヒョウモンモドキのほか、ホソハンミョウ、セアカオサムシ、ヒトツメアオゴミムシ、オオキンナガゴミムシなどの草地性昆虫類が多く生息する。希少種の種類も多い。地元の活動団体が地域を巻き込んでウスイロヒョウモンモドキの保全活動を続けている。

【大沼】
大規模地すべり地の凹地部分に発達した湿原で、ザゼンソウ、ミツガシワなどの湿地性の希少種が生育する。